

新たな価値の創造を

取締役 常務執行役員 **神 戸 勝**



ここ数年、中国の経済発展は目覚ましいものがありますが、日本経済はバブル崩壊後10年にもなるというのに、未だに低迷したままです。品質とコスト競争力が日本の強みでありましたが、これも既に過去のこととなりつつあります。グローバル競争の中で日本メーカーが今後とも生き残っていくには、競争力のコアとなる技術開発力が最も重要な鍵となるはずです。

おりしも昨年秋、3年連続でのノーベル賞受賞は、企業人である我々にも大いに自信をつけてくれる出来事の一つでした。一民間企業の島津製作所、その一主任であった田中耕一氏の化学賞受賞は思わぬ快挙であり、誰もが嬉しくなるものでした。また小柴昌俊氏の物理学賞も浜松ホトニクスが強力な技術支援あつてのことです。

コニカも画像情報分野においては、自信を持って今後とも他の追随を許さぬ技術開発力を発揮していきたいものです。目指す企業像はイメージング・ソリューション・カンパニーです。企業価値の創出が経営陣

のミッションですが、技術開発に携わる者が共通すべきミッションは知の創造・新たな価値の創造です。ある者は優れた商品・サービスの開発を、ある者は先端技術の研究・開発を、また、ある者は革新的な生産技術の開発を目指します。

開発リーダーには、メンバー一人一人の持てる力の存分な発揮・豊かな個性の発露、この多様性を活かし結集するリーダーシップと、効果的なナレッジマネジメントが求められます。コニカは今年大きく変貌しますが、技術開発による企業発展と社会貢献を行う技術立社の基本方針は不動なのです。

本号もコニカの研究・技術開発成果が多岐に亘って掲載されております。技術は、進化すればするほど必然的に多くの専門分野へと枝分かれし発展していきますが、同時に異分野交流によっても思わぬ飛躍をするものです。本号がコニカの技術発展を皆様に理解していただく一助となり、また更に、各専門分野の枠を超えて皆様の貴重な知の交流の機会ともなれば幸いです。